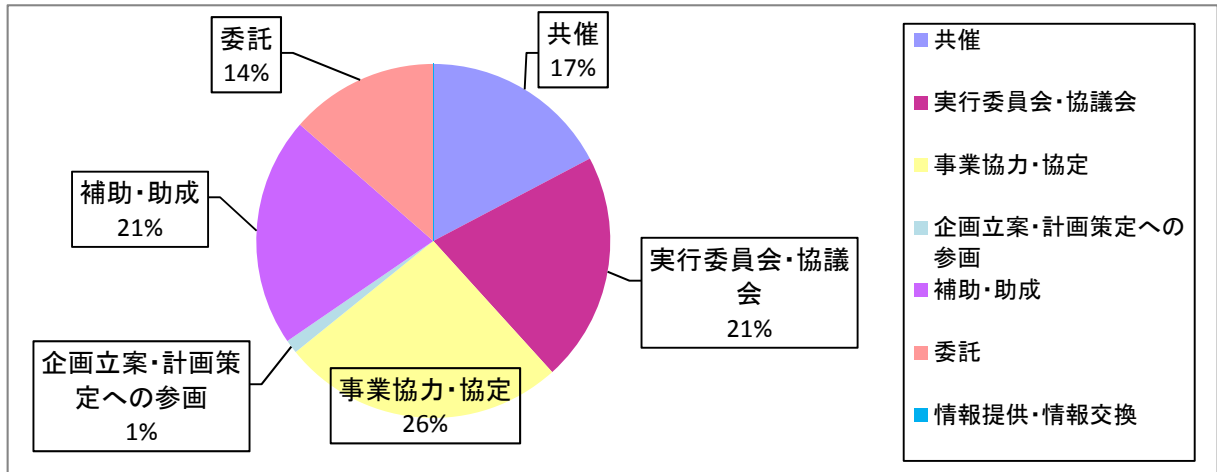


沼田市の市民協働事業（平成26年度）

1 協働事業の状況

平成26年度 協働事業の手法別の状況です。

区分	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定への参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
事業数	14	17	21	1	17	11	0	81
割合	17%	21%	26%	1%	21%	14%	0%	100%



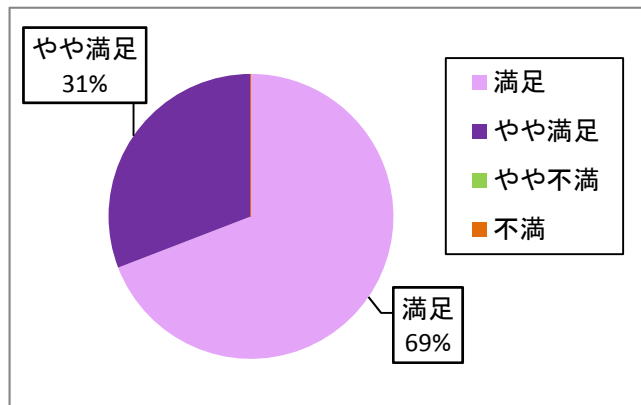
2 協働事業の評価結果

今回実施した調査では、協働という視点で事業を捉えて、各事業の評価・点検を行いました。

その評価結果(満足度)については、次のとおりでした。

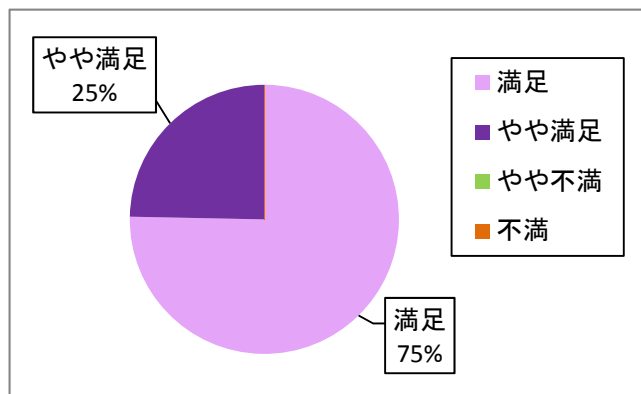
○市の担当者の満足度

区分	事業数	割合
満足	56	69%
やや満足	25	31%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	81	100%



○協働のパートナーの満足度

区分	事業数	割合
満足	61	75%
やや満足	20	25%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	81	100%



3 平成26年度の事業より紹介

平成26年度に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業内容
36	観光交流課	沼田市産業展示即売会	実行委員会・協議会	沼田地区地場産業振興協会	本市地場産品の総合展示・即売、各種催事の実施
51	社会教育課	初級指導者養成講座	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年地域活動リーダーの養成講座の実施

No.36 沼田市産業展示即売会



「ボランティアによる受付の業務打合せ」



「巨大こんにやく準備」



「焼きまんじゅうサミット」

No.51 初級指導者養成講座



「育成会等研修会」



「野外炊飯体験指導研修会」



「青少年地域活動リーダーの救急救命講習」

4 平成26年度 沼田市協働事業一覧

	担当課	事業名	手法別	協働のパートナー	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
						担当課	パートナー
1	防災対策課	防火・防災事業	補助・助成	沼田市八職工防火協力会	歳末警戒・出初式・災害時の消防機関への協力	設立当初に比べ、構成する各組合(建築相互組合、左官工業組合等)自体の組合員数が減少している。したがって協力会の入会者も少なくなるとともに高年齢化も進んでいる。	設立当初に比べ、構成する各組合(建築相互組合、左官工業組合等)自体の組合員数が減少している。したがって協力会の入会者も少なくなるとともに高年齢化も進んでいる。
2	企画課	沼田市国際交流協会事業	補助・助成	沼田市国際交流協会	国際都市交流及び親善に関すること 国際交流の啓発と普及 国際交流に関する調査研究	市内に在住する外国人向けの日本語教室、交流の場としての玉原ハイキング及び交流パーティを開催し、多文化共生社会の実現に向けて取り組んだ。	市内に在住する450人を超える外国人が市民とともに楽しく暮らせる多文化共生社会の実現に向け、各種事業を実施した。
3	企画課	準市民交流事業	実行委員会・協議会	沼田市準市民交流会実行委員会	市民参加の事業運営を図るため、各種団体の代表者で構成する実行委員会を設置し、交流会を開催する。	交流会参加者数は、実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの、内容的には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果は上がっている。	交流会参加者数は、実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの、内容的には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果は上がっている。
4	企画課	沼田市地域大学連携事業	実行委員会・協議会	沼田市地域大学連携事業実行委員会	中山間地域の特性を踏まえた産業及び文化の振興に大学の「知」を生かし、地域の活性化につなげることを目的に、農産物のブランド化及び6次産業化をテーマに講座を実施した。	市民の「関心」と大学の「知」を結びつけるテーマ設定が課題	市民の「関心」と大学の「知」を結びつけるテーマ設定が課題
5	生活課	沼田市地区交通安全会連合会活動事業	補助・助成	沼田市地区交通安全会連合会	交通安全運動の推進・普及徹底及び交通指導	各地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。	各地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。各地区交通安全会との情報交換を今まで以上に行っていきたい。
6	生活課	タフティクラブ活動事業	補助・助成	タフティクラブ	幼児と母親の交通安全教育や研修の実施	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園や幼稚園のみならず、市外での交通安全教室を実施する等、子供たちの交通安全教育に大きく貢献している。	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園や幼稚園のみならず、市外での交通安全教室を実施する等、子供たちの交通安全教育に大きく貢献している。会員数(現在:8名)が少ない。会員の高齢化が、今後、懸念される。

7	生活課	沼田市くらしの会活動事業	補助・助成	沼田市くらしの会	3R運動や各種講習会開催など、賢い消費者を目指す。	有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの取組等を行い、消費生活のみならず、広く環境対策等にも取り組んでいる。	有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの取組等を行い、消費生活のみならず、広く環境対策等にも取り組んでいる。各種女性団体は、それぞれ特色のある活動を行っているので、連合（連絡協議会）のような組織をつくるのは無理かもしれないが、事業の目的は1つなので協力しあって横の連絡は取れないものかとも感じている。循環型社会の構築を目指して活動に取り組んでいるくらしの会も高齢化で先細りの感が強いので若い人の入会を希望している。
						(改善点など)多くの会員に参加してもらえよう、引き続き、日頃から活動以外でも集まる機会をつくり、意見交換をしたり、活動に参加しやすい雰囲気をつくるようにしている。	
8	生活課	市民協働によるまちづくり事業補助金	補助・助成	市民活動団体、地域コミュニティ代表者など (群馬歴史散歩の会利根沼田支部)	地域の活性化や問題解決に向けた活動への助成。事業審査は市民が行う。	26年度は3団体が、計画から実施へと実現性を高め魅力ある地域づくりを実践した。4月実施が出来るよう、募集期間を2月～3月としているが、審査委員会の時期についても検討したい。	予想以上の成果を得ることができた。時間的な問題もあるが、地域の人たちの多くの参加を今後考え、多面的に取り組んでいきたい。
9	生活課	市民活動センター管理運営事業	企画立案・計画策定企画	市民活動センター運営委員会	市民活動センターの円滑な運営について検討する。	市民活動センターの事業計画などの意見を聞き、事業実施に反映することができた。	自分たちの活動を行うのが精一杯であり、多くの団体を横断的に見て運営できる人材が少なく、公設民営を目指しているが現実には難しい。
10	生活課	男女共同参画推進事業(セミナー開催、計画の推進)	共催	北毛地域人権啓発ネットワーク協議会、大学研究員、一般市民等 (北毛地域人権啓発ネットワーク協議会)	セミナー開催により、市民の意識啓発を図る。企画の段階から市民参加で検討する。	パートナーが講演会の参集をして成果があったが、まだまだ参加者が少ないので、更に工夫が必要である。講座の実施方法について、受講型から参加型に変更して、参加者が話し合えるカフェ形式で開催したところ、参加者からカフェの継続を望む声があり、「尾瀬カフェ」に発展した。	毎年セミナー参加者から企画実行委員を募り、一昨年、昨年と徐々に新しいメンバーが増えていることは、大変良いと思う。講座の実施方法について、受講型から参加型に変更して、参加者が話し合えるカフェ形式で開催したが、参加者からカフェの継続を望む声があり、「尾瀬カフェ」に発展した。
						(改善点など)講座の実施内容について、講師の講義を聞くだけの講座から、ワールドカフェの手法を使い参加者が考える参加型の講座に変更して実施した。	(改善点など)北毛地域人権ネットの関係者だけでなく、セミナー参加者にも企画実行委員会に参加いただき、いろいろな意見を聞き、検討することができた。

11	環境課	環境啓発事業 (環境フォーラム ぬまた等)	委託	ぬまた環境ネット	ぬまた環境ネットの運営と環境啓発 事業(環境フォーラムぬまた)の開催	<p>【成果】 代表者会議の開催や研修視察の実施により、加盟団体間の連携を図るとともに情報共有が出来たほか、各団体の実施事業を助成し、市民への啓発活動を支援することが出来た。 環境フォーラムについては、加盟団体による活動展示照会が行われ、多くの市民の方に団体の活動内容を知ってもらうとともに環境啓発も図ることが出来た。</p> <p>【課題】 活動助成金の有効活用 団体主催を含めた各イベントの更なる周知方法の検討</p>	<p>年度当初に計画した事業については、滞りなく実施することができた。《今後の課題》①「環境フォーラムぬまた」のメインイベントとして、これまで講演会やエコサイエンスショー、講演ライブを行ってきたが、市民はどのようなものを求めているのかをリサーチする必要がある。②当会では年1回「ぬまた環境ネットだより」を発行し、市内全戸に回覧している。編集委員会が企画・取材・執筆に当たっているが、今後は原稿の執筆については、加入団体からも寄稿していただくように改め、内容を充実したい。③「第二次沼田市環境基本計画」(平成27年3月策定)について、当局から説明を受け、それぞれの団体が同計画の達成に向け、どのような行動・取組をすべきかについて共に考えたい。</p> <p>(改善点など)前年度好評であった市内施設見学会(廃棄物処理施設)について、今年度は「水」をテーマに、上下水道施設の見学会を行った。今後も、身近な環境関連施設見学会を催し知識吸収に努めたい。</p>
12	環境課	環境啓発事業 (ブナ幼木移植)	事業協力・ 協定	ぬまた環境ネット (利根沼田自然を 愛する会)	玉原高原の再生のためケヤマハンノ キ林にブナ幼木を移植	<p>市の環境基本計画でも自然環境の保全を掲げており、今後も同会との連携を強化する必要がある。今回の環境啓発活動以外にも協働が進められる取組を考える。例年、市民の参加が少ないことから「ホットメールぬまた」の活用、他の環境啓発事業への過去の参加者などに通知を出すなど更なる周知方法の検討が必要である。また、ぬまた環境ネットの会議実施時に他団体への参加を呼びかけた。</p> <p>(改善点など)例年以上の周知を行ったが、参加者は少なかった。</p>	<p>市民の参加がまだ不十分であるが、輪の広がりはある。作業後の経年結果等の記録をしているので、数年後その結果を公表することにより、今後の事業発展・啓発効果を図れる。</p>
13	環境課	春・秋の市内一 斉清掃	共催	沼田市環境保健 協議会	道路愛護運動と同時に道路・河川・ 公園等の清掃作業を実施する。	<p>一斉清掃・道路愛護運動を実施した結果、ポイ捨てごみを中心に、タイヤなど不法投棄された廃棄物の清掃も同時に実施され、周辺環境の美化が図られた。また、多くの市民の参加が得られ、住民の環境美化に対する意識の向上が図られた。今後も、より多くの市民に参加していただけるよう沼田市環境保健協議会と協力しながら働きかけていきたい。</p> <p>(改善点など)昨年同様、多くの市民に参加いただいた。</p>	<p>いずれの町(支部)も熱心に一斉清掃・道路愛護に取り組んでいただいたと思う。今後もより多くの市民の方に参加していただけるよう、環境保健協議会の会議等において各町の支部長に協力をお願いしていきたい。</p>

14	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル運動協議会ほか51団体(NPO法人あおぞら会)	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施	26年度の集団回収事業登録団体は53団体、延べ290回実施され、紙・缶・びん等の再生可能な資源が707t回収された。昨年と同様、より多くの団体が参加してもらえるよう、周知していきたい。	地域住民および関係者の方々に協力していただき、奨励金を作業所の運営費に充てることができた。引き続き、集団回収事業を実施していきたい。
						(改善点など)登録団体数及び実施回数は昨年とほぼ同様の結果であったが回収量が減少した。引き続き登録団体加入への周知と実施回数、回収量増加への周知を図りたい。	(改善点など)回収量を増加できるように、地域の方々へ、より一層周知を行ってきたい。
15	子ども課	親子ふれあい交流事業	事業協力・協定	沼田市母子会	ひとり親家庭の親子のレクリエーション等の実施	事業の中心となる母子会会員の減少により、事業運営に係わる人材の確保が難しくなっており、平成26年度はレクリエーションの規模を縮小し実施した。今後は、事業の実施方法等について検討していく必要がある。	企画の中心となる母子会会員の減少が進んでいるが、参加者に喜んでもらえているので続けていきたい。
						(改善点など)若年母子家庭の参加を促すため、母子会会員が声かけを行った。	(改善点など)より多くの人に参加してもらうため、該当する家庭へ声かけを行った。また、参加者からの意見を事業内容に反映することができた。
16	子ども課	沼田市子育て支援ネットワーク事業	事業協力・協定	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会	子育て支援団体等ネットワーク事業の実施	子育て支援団体等のネットワーク構築により子育て家庭のニーズ把握が可能となり、ニーズの高い地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を開設し支援を進めることができた。(地域子育て支援拠点事業＝市委託事業。ネットワーク推進協議会の参加団体である「NPO法人利根沼田地域ボランティアセンター」が受託。)	沼田市子育て支援ネットワーク事業を受けて、平成25年度から沼田市より地域子育て支援拠点事業を委託され、保健福祉センター3階子ども広場で、月～金曜日、10～15時まで二人のスタッフを常時おけるようになった。協働モデル事業では月曜日だけのプログラムを各団体が受け持ったが、常時スタッフがいるようになり、利用も相談も格段に増え、子育て支援により大きな役割を果たせるようになった。子育て支援ネットワーク推進協議会で、2～3か月に一度会議で報告し、提案をいただいている。30～60代までの経験豊かなスタッフ8人が連携を取り、記録も丁寧に残し、順調に事業が進んでいる。利用者が多いため、長期休みに大ホールを借りられるよう行政の側でも対策を考えていただいている。
						(改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携が取れるようになっている。	(改善点など)定期的にネットワークの会議を実施し、担当の係と緊密に連絡を取り合い、連携をより密にすることができた。子ども広場を利用している気になる親子については、子ども課と家庭児童相談室と連絡を取り合い、情報交換をしながら見守っている。

17	高齢福祉課	市民敬老号事業	事業協力・協定	沼田市老人クラブ連合会	高齢者の親睦と社会見聞を広めるため2泊3日の県外旅行を実施	老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行先等を検討し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布するなどにより、多くの高齢者に参加を促している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間達とともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たしている状況である。	老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行を企画し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布することから、たくさん的高齢者の方が参加している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間達とともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たしている状況である。今後はもう少し老人クラブ会員の参加者を増やしていくことを考えたい。
						(改善点など)高齢者の安全性や利便性を第一に考え、次回も継続して参加していただけるようにあらゆる視点から配慮していく姿勢を持つという意識に改善した。	(改善点など)企画会社選定にあたっては、旅行会社やバス会社に対する安全性・信頼性などを重要視していくということを改善した。
18	高齢福祉課	老人クラブ助成事業	補助・助成	沼田市老人クラブ連合会	単位老人クラブの自主活動の促進と健全育成を図るため、1年間の活動費の助成として、補助金を交付している。	沼田市老人クラブ連合会は、平成24年度に創立50周年を迎え、50周年式典や記念誌を発行した。老人クラブは、地域高齢者全体を視野に入れた健康づくりや介護予防活動、友愛訪問などの地域支え合い活動等に取り組んでおり、地域社会の重要な担い手としてなくてはならない存在である。しかし、全国的に各町のクラブ数、会員数とも減少しており、その流れに歯止めをかけていくことが今後の課題である。	沼田市老人クラブ連合会は、平成24年度に創立50周年を迎え、50周年式典や記念誌を発行した。今後の課題としては、クラブ数、会員数とも減少しており歯止めをかけていくことである。
						(改善点など)事業計画における基本方針でクラブ数、会員数の減少に対して一丸となって取り組むことを理事会、総会で再確認した。各単位クラブ会長が事務書類提出等に負担にならないよう心掛けた。	(改善点など)事業計画における基本方針でクラブ数、会員数の減少に対して一丸となって取り組むことを理事会、総会で再確認した。
19	高齢福祉課	高齢者筋力向上トレーニング事業	事業協力・協定	老人クラブ、ふれあいいきいきサロンほか(老人クラブ)	暮らしに役立つ筋力向上トレーニングを実施しながら仲間づくりを行う。	老人クラブは、地域高齢者の中核的な組織であることから、事業推進の基幹となっているが、近年老人クラブ加入者の減少、老人クラブ自体が解散している地区もあり、組織率の向上が課題となっている。また、地域での住民組織(区長、民生委員、保健推進員など)と連携を深めることにより、地域に密着した活動が期待できる。新たに地区リーダー(福老体操すすめ隊)の養成を開始した。リーダーが独り立ちして地区で指導してくれるよう期待している。	老人クラブ会員が事業推進の中心となっているが、より多くの人の参加が望まれる。筋トレ活動に参加している人で老人クラブ未加入の人にも加入を呼びかけるなどして筋トレ団体と老人クラブの双方の維持増強に努めたい。他の関係団体(地区サロンや公民館の教室参加者等)の協力も求めたい。

						(改善点など)筋トレ団体の紹介の動画をユーチューブにアップし、普及啓発と参加者の意欲向上につなげることができた。教室や出前講座でも紹介し参加の呼びかけを継続し、地区筋トレの維持を支援していきたい。	(改善点など)より多くの人に参加してもらうために、会員同士の誘い合いをしてもらうよう役員会などで呼びかけた。仲間意識が高まり、より地域に密着した活動ができるよう、今後も筋トレ事業を継続していきたい。
20	健康課	地区健康教室	共催	沼田市保健推進委員会	地域で健康教室を開催し、こころの健康及び生活習慣病予防等の正しい知識の普及を図る。	回覧等による周知を行っているが、身近な保健推進員の声かけが参加者を増やすことにつながっている。地域づくりの一環としても保健推進員の声かけは効果的である。地区により、教室開催等のばらつきがあるため、なるべく多くの地区で開催できるように区とも連携をとり開催していきたい。地区ウォーキング教室は、推進員が考えたコースを下見して決定している。ウォーキングは男性の参加も多く好評である。*沼田市のホームページにウォーキングマップをアップしたので、住民に広めて活用していきたい。保健推進員会理事会(年4回)にて、計画や報告など情報交換を行い、ニーズにあった事業を取り入れていく必要がある。	地区健康教室については、保健推進員が、担当保健師と地区役員との連絡調整を図り、多くの住民の方に参加してもらうよう働きかけている。また、地区(地域)の行事や地区組織を知り、協力して開催できるよう計画する。健康講座や講演会、講習会などにできるだけ参加し、健康講座等で教わったことを住民の方に広めていく。地区ウォーキング教室開催時、作成したウォーキングマップを地域の方に活用してもらえるよう広めていく。
						(改善点など)健康教室、地区ウォーキング教室を開催していない地区に、開催にむけての話し合いを持つよう働きかけた。	(改善点など)地区ウォーキング教室や健康教室を継続して開催できた。
21	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会(利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流	沼田市、利根沼田農業協同組合、沼田市農業委員会が共催となり、多くの農業関係者の協力を得て開催していることから、農業関係者間の交流を図るとともに、安心安全な農産物の提供を通して、来場される消費者との交流も図られている。	農家と消費者の交流が図られ、農家の育てた安心・安全な農産物を直接消費者に販売し、地産・地消運動の実践ができ、農家への理解と信頼を深めることができた。
						(改善点など)経費節減の検討は引き続き行う必要がある。	
22	農林課	認定農業者協議会活動支援事業	補助・助成	沼田市認定農業者協議会	認定農業者協議会活動費補助	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も259名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も259名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。
23	農林課	生活研究グループ活動支援事業	補助・助成	沼田市生活研究グループ	生活研究グループ活動費補助	各種イベントを通じて、地場産農産物を利用した料理や郷土料理などを試作・発表するとともに、食育についても率先して事業計画を練り、都市住民、地域住民、子どもたちの農産物の食への関心の高まりに効果を上げている。	各種イベントに参加することにより、世代間の交流や多くの参加者と触れ合うことができた。

24	農林課	地域農政推進委員会支援事業	補助・助成	沼田ほか4地区地域農政推進委員会(沼田地区)	地域農政推進委員会補助	今後も、農業振興に対する意見聴取や情報交換等を行い、組織として情報を共有し検討していく必要がある。 (改善点など)地域の特色を活かした、新たな取組を始めた。	今後も行政と一体となり、情報交換等により情報を共有しながら事業に取り組む必要がある。
25	農林課	森林づくりボランティア推進事業	事業協力・協定	ボランティア希望者	ボランティア登録者による森林整備	近年は、環境問題への関心の高まりとともに、ボランティア活動を行う機会も増えてきている。そのような状況下で有意義な森林整備ができた。今後は、ボランティアの方が参加しやすい方法や作業中の怪我に備えた保険加入など、関心のある方が安心して参加できる体制の整備が必要となる。	今回は参加できたが、今後も無理のないように参加したい。
26	農林課	みどりの小径整備事業	事業協力・協定	地元住民(高橋場町商工会)	地元主体の遊歩道の維持管理	地元要望に基づき整備し、地元において維持管理することで事業を実施してきたが、地域ごとの意識の違い等により、現在の維持管理においては違いが出ている。	特記事項はなし
27	産業振興課	沼田まつり	実行委員会・協議会	沼田まつり実行委員会	各部会を設置し、各種団体の協力を得て沼田まつりを開催する。	平成26年度の入込数は、24万人であった。	平成26年度の入込数は、24万人であった。
28	産業振興課	新規学卒就職者激励親睦のつどい	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
29	産業振興課	利根沼田勤労者ソフトボール大会	共催	沼田地区労働教育委員会・沼田市ソフトボール協会(沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、ソフトボール大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
30	産業振興課	利根沼田勤労者卓球大会	共催	沼田地区労働教育委員会・利根沼田卓球協会(沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、卓球大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
31	産業振興課	新規学卒就職者研修会	共催	沼田地区労働教育委員会	新規就職者を対象に社会人の自覚を促し、勤労意欲の向上を図るために研修会を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
32	産業振興課	利根沼田勤労者美術展	共催	沼田地区労働教育委員会	勤労者の相互理解、勤労意欲の向上等のために美術展を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
33	産業振興課	児童木工工作大会	補助・助成	沼田木材組合	子どもたちに木のぬくもりと有益性を認識してもらうため、木工工作大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし

34	産業振興課	ニュー木工工作 広場	補助・助成	利根沼田建築相 互組合	地元産木材のPR及び住民交流等の ために木工工作広場を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
35	観光交流課	交流居住促進 事業	実行委員 会・協議会	沼田市交流居住 促進協議会	都市部との交流事業の促進・移住希 望者等受け入れの環境整備等	都市間交流については、災害や環境に 関する協定を結んでいる新宿区や板橋 区、港区などとの交流は年々その幅を 広げているが、この組織の名称にもな っている「居住」についての事業展開 が交流に比較し手薄になっていること は否めない。今後は、移住相談会・移 住セミナーなどを積極的に活用し、組 織の両輪である「交流」と「居住(移 住)」それぞれの事業の比重をバラン スの良いものとしていきたい。	現在継続している都市間の交流は、 その質をより向上させる方向での活動 が必要であるとともに、民間レベルで の交流がより活発に行われるよう、公 から民間へ事業量をシフトしていける ような取組も必要になってくるのでは ないか。
							(改善点など)事業を進める中で、それ ぞれの団体が、直接事業に関わる「実 行団体」とその事業に対し意見や提案 を行う団体に分かれる傾向にあったた め、組織体制を見直しにより「実行団 体」はより事業に取り組みやすく、意 見具申をする団体はよりその機会が増 えるような改善を行った。
36	観光交流課	沼田市産業展 示即売会	実行委員 会・協議会	沼田地区地場産 業振興協会	本土地場産品の総合展示・即売、各 種催事の実施	地元企業との協働という面では、昨年 と同様の取組ができたが、今後その幅 をどのように広げていくかが課題であ る。	平成24年度より開催場所を沼田公園 野球グラウンドに移したことにより、来 場者も飛躍的に増加し、出展者数も前 年を上回る結果となった。イベントで は交流都市である太田市より2団体に 参加していただき、ステージを盛り上 げていただいた。だんべえ踊りのステ ージでは沼田市の団体との交流も行 えたことは大きな成果である。
							(改善点など)ステージイベントにお いて、市内の沼田幼稚園など市内出 演者の比率を上げることにより、集客 のアップ、経費の節減を図るととも に、協働事業としての取組を強化し た。
37	観光交流課	観光ボラン ティアガイド	事業協力 ・協定	沼田市観光協 会	観光ボランティアガイドの募集、育 成講座の開催など	観光ガイドの活用も増加していること から、更なる人材確保と養成が急務 である。	観光ガイドの依頼が増加しているが、 会員の高齢化が進んでいる中、新規 会員の増員が急務である。
38	観光交流課	沼田市観光協 会事業	補助・助成	沼田市観光協 会	観光農園、飲食店等の紹介やキャン ペーンの実施	本市の情報だけにとどまらず、周辺自 治体とも情報を共有することで、地域 に訪れる観光客の利便性の更なる向上 を図る。	本市の情報だけにとどまらず、周辺自 治体とも情報を共有することで、地域 に訪れる観光客の利便性の更なる向上 を図る。
						(改善点など)キャンペーンの時期、場 所等において、より効果的に実施でき るよう検討した。	(改善点など)キャンペーンの時期、場 所等において、より効果的に実施でき るよう検討した。

39	都市計画課	公園管理事業	事業協力・協定	薄根町区ほか12団体	公園の維持管理を地元住民との協定により実施し、利活用を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
40	都市計画課	市民緑化推進事業	補助・助成	吹割の滝観光協会ほか23団体	緑化推進事業に対する補助金の交付	特記事項はなし	特記事項はなし
41	街なか対策課	中心市街地活性化の会補助事業	補助・助成	沼田市中心市街地活性化の会	中心市街地の活性化を目指し、よりよいまちづくり実現に向けた事業への補助金交付	中心市街地活性化の基盤となるハード事業(土地区画整理事業)の建物移転等は徐々に進捗しているが、それ以外の部分の施策について、更に協働パートナーと協議を進めていきたい。ほか、協働パートナー以外の関係者も更に取り込み市民全体の課題として取り組みたい。	区画整理事業をベースにしているため、権利調整に時間がかかる。先行きが不透明のため会員に脱力感を感じられている方が多くなっていたが、2街区の一部を仮換地指定できたことや、予算の増額で26年度は、2街区の残りとして4街区の東地区を仮換地指定され、仮換地指定が約50%になる。まちづくりは永遠に続けるので、活性化は今行えること、実験してみること、区画整理後の目標とを合わせて行う難しさがある。
					(改善点など)昨年度に引き続き、中心市街地を会場とした都市緑化事業時に地元高校生とパートナーとの連携により地域住民の参加で植栽作業することができた。	(改善点など)まちづくりを進める上でハードとソフトは一体であり、ハードの区画整理の推進とソフト事業のできるところから進めながら実績を上げていく。一部専門家を国より派遣していただき、ハード・ソフトの両面を指導していただき個人の単なる再建でなく、街が必要としているものを今後まちづくり事業として導入して、市民から支持されるまちにしたい。	
42	学校教育課	沼田市スポーツエキスパート活用事業	事業協力・協定	中学校運動部活動の外部指導者	運動部活動の指導充実と地域社会の連携を促進するため、外部指導者を委嘱し、実技指導及び助言をいただく。	本事業は、地域の教育力を活用するという意味において、今後も市民の専門的な知識能力を活用することにより、学校側で必要としている人材の確保を図り、事業実施の拡大に努めていく必要があると思う。地域に存在する指導者の発掘が重要である。	指導経験のない教師が顧問になったことに対しての、保護者の不安が軽減された。年間の回数については、実情に合わせて柔軟に対応していただけたとありがたい。(予算立ての面で難しいと思いますが、回数をオーバーしてボランティアで指導していただいている実情がある)生徒に対する技術指導だけではなく、顧問教師に対しても指導方法等を伝授していただいている。
					(改善点など)地域性を考慮した人選を行うようにした。(学校区内の人材活用)		

43	学校教育課	学校支援センター運営維持事業	事業協力・協定	各小中学校PTA役員、各種社会教育団体	地域や学校実情に合わせ多様な学習を行うための外部講師や安全確保、教育環境の整備など、ボランティアの協力を得て実施する。	学校支援センターの機能を充実させるためのリーダーとなるコーディネーターの発掘と育成が必要となる。学校地域支援本部事業が、国・県・市町村で1/3での補助事業に変更となったため、今後事業費の縮小が予想されるが、補助事業終了後においても、地域ボランティアと協働して事業実施が行えるような体制整備が必要となる。平成24年度より学校地域支援本部事業については、社会教育課を担当課として事業実施を行うこととした。	現在のところ、読み聞かせやベルマーク整理、また授業協力などで円滑な協力体制ができています。今後も無理なく支援の範囲を広げていければと考えています。ボランティアの役割、学校の役割をお互いに理解した協力体制を継続していきたい。
						(改善点など)支援内容として、学校における授業(書写・家庭科等)の支援が増え、学校におけるボランティアの活躍の場が増した。	
44	社会教育課	沼田市文化祭開催事業	委託	沼田市文化協会	市民の作品展示・舞台発表などにより、芸術文化の普及発展、意欲向上を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
45	社会教育課	家庭健全化運動推進モデル地区開催委託事業	委託	沼田地区青少年育成連絡協議会	情報交換会及び沼田地区上毛かるた大会の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
46	社会教育課	市民体力づくり歩け歩け運動大会	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	市民の体力向上と青少年の健全育成のための歩け歩け運動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
47	社会教育課	子ども会ボランティア活動開催委託	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	子ども会単位での清掃活動を中心としたボランティア活動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
48	社会教育課	青少年指導者会研修事業委託事業	委託	沼田市青少年指導者会	指導者会会員の資質及び技術の向上を図るための研修会の実施	この事業で行われた研修内容は、ぬまたネイチャーキッズ等の事業に生かされており、青少年の健全育成につながっている。なお、今後については、ジュニアリーダー一部などからの後継者の育成を更に推進する必要がある。	この事業で行われた研修内容は、ぬまたネイチャーキッズ等の事業に生かされており、青少年の健全育成につながっている。なお、今後については、ジュニアリーダー一部などからの後継者の育成を更に推進する必要がある。
49	社会教育課	青少年育成推進員等研修会及び情報交換会委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年育成大会及び研修会	特記事項はなし	特記事項はなし
50	社会教育課	子ども会行事開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	かるた大会の開催により子ども会活動の活性化と親睦を図る。	沼田かるたについては、各単位子ども会により取組の姿勢が大きく異なり、競技人口が減少傾向にあるため、何らかの改善が必要になっている。	沼田かるたについては、各単位子ども会により取組の姿勢が大きく異なり、競技人口が減少傾向にあるため、何らかの改善が必要になっている。

51	社会教育課	初級指導者養成講座	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年地域活動リーダーの養成講座の実施	育成会長研修を兼ねていて、教育行政方針をはじめ、沼田市青少年育成連絡協議会主催事業の説明や安全教育について等重要な内容であるが、出席率が非常に悪い。ほかの行事も重なることが多く、開催時期の見直し等が必要と思われる。	特記事項はなし
52	社会教育課	沼田市成人式式典開催委託事業	委託	沼田市成人式実行委員会	成人を祝う式典の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
53	社会教育課	青少年自然体験活動推進事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	集団生活に耐えられる意志・体力を養うための野外体験活動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
54	社会教育課	茶会開催(文化財利活用)事業	事業協力・協定	沼田茶道会	旧土岐邸洋館において桜の時期の休日に「お花見添え釜」を開催	流派によって様々な趣向を凝らした茶会がおこなわれた。桜の時期に重なっていることもあり、来場者が多く大盛況であった。結果、施設の観覧者数も大幅に増加した。施設の観覧者増加に、茶道会の本事業が大きく貢献している。また、茶道のPRなども同時に行え文化向上の相乗効果が得られている。沼田公園もとてもよく整備されており茶道会役員も気持ちよく実施できたと思われる。	イベントや桜の時期が重なったこともあり、例年にないほど、お客さんが来てくれ大盛況でした。トラブルもなく、無事終わることができほっとしています。今後も、市から宣伝を続けていただき来場者が増えることを願っています。今後も長く続いていけばいいと思っております。本事業外ではありますが、沼田公園がとてもきれいに管理されており、桜の時期以外でも花などもきれいなので、カフェなどあればよりにぎわうかと思います。
					(改善点など) 本年も、桜の開花時期と合わせて実施できたので、改善する要素なし。	(改善点など) 宗派によって様々な趣向を凝らした茶会がスムーズに開催できました。沼田公園は桜だけではなく、時期によってたくさんの美しい花が咲いているので、そのすばらしさをたくさんの人に知ってもらいたいという思いもあり活動しております。	
55	社会教育課	著者を囲む会	共催	沼田市読書グループ連絡協議会	優れた文学作品をテキストとして、その著者と直接語り合う会の開催	特記事項はなし	参加者の増加を図りたい。
					(改善点など) 日程を精査した。	(改善点など) 日程を精査した。	
56	社会教育課	読書研修会	事業協力・協定	沼田市読書グループ連絡協議会	公開による読書会の開催	特記事項はなし	昭和54年から30年に及ぶ読書研修会は県下においても例を見ない。まして中心となる人物が箕輪明先生(当時、沼女教員)を囲んで沼田市読書グループが全員で一冊の本を選定して読み語ることは自分の意見を持つことで確実にひとつの人格を形成して市民生活に目覚めて発言も多くなることになる。自らがお互いに積極的になるべく一つの本を読むことは大切な要素でこれが子どもたちに与える影響は大きいと思うので、これからの長く続けていきたい事業ではないか。

						(改善点など)日程、テキストをより精査した。	(改善点など)日程、テキストをより精査した。
57	社会教育課	おはなしポケット	事業協力・協定	沼田読み聞かせの会	子どもを対象にした読み聞かせ	平成26年度は、17回実施し、285名の親子が参加した。また、図書館開館20周年記念事業として一日を「読み聞かせまつり」としてイベントを開催していただいた。多くの方に来館いただき喜ばれた。読み聞かせとともに参加者の絵本選びを手伝うなど、子供の読書活動の推進及び図書館利用の促進が図られている。	読み聞かせとともに参加者の絵本選びのお手伝いも行っており、子どもの読書活動の推進と図書館利用の促進が図られていると思います。
58	社会教育課	ブックスタート	事業協力・協定	ブックスタートボランティア	赤ちゃんと保護者のふれあいを絵本を介して応援する。	赤ちゃんとお母さんが肌のぬくもりを感じながらことばと心を通わすかけがえのないひとときを「絵本」を介して持つことを応援するブックスタートは今年10年目を迎えた。本の読み聞かせのほか、子育てに関するイベント等のチラシをブックスタートパックと一緒に案内している。ブックスタートを通して、赤ちゃんの幸せを願う地域の人たちが出会い、親しくなることでよりよい子育ての環境づくりを考える関係も生まれている。	絵本を読んであげたときの赤ちゃんのかわいい反応をお母さんと一緒に楽しく体験している。ブックスタートを通して、地域に子育てを応援する人がたくさんいることを知ってもらったり、赤ちゃんが参加できるさまざまな活動に出会うことで、保護者が安心して子育てができるきっかけになると良いと思う。
59	社会教育課	市民ハイキング	事業協力・協定	沼田山岳会	市民ハイキングの実施により市民の体力向上と参加者相互の親睦を深める。	毎年、盛大に事業を実施しているが、市民ニーズを捉えたコース選定の難しさを感じている。	毎年、盛大に事業を実施しているが、市民ニーズを捉えたコース選定の難しさを感じている。
60	社会教育課	公民館まつり	共催	公民館利用団体、教室受講生	公民館まつりの開催	公民館教室受講生や利用団体等から多分野における力作が出品され、日頃の公民館活動の成果が発表されている。	公民館教室受講生や利用団体等から多分野における力作が出品され、日頃の公民館活動の成果が発表されている。
61	社会教育課	利南公民館まつり	共催	利南魁の会、利南地区内若妻会、利南地区老人クラブ連合会(利南魁の会)	作品の出展、参加をとおして地区民の親睦と個々の資質の向上を図り、連帯感を深め、地域の発展に寄与する。	地区内団体や公民館教養教室及び公民館を利用している自主サークルに作品展示と交流の場を提供している。来館者の拡大により、公民館活動への理解と地区民相互の親睦を図りたい。平成23年度から沼田市立利南幼稚園及び利南東幼稚園の園児の作品を出品してもらっており、幼児・児童を連れた家族連れの来館者が増加している。	利南公民館まつりは、利南魁の会を中心とする地域女性による湯茶等の接待、バザー及び茶道による接待があり、出品された作品の魅力もさることながら「もてなす心」の出展が特徴であり、地域の和を深める良いまつりとなったと思います。

62	社会教育課	利南女性学級	実行委員会・協議会	利南魁の会	利南魁の会、地区内の女性を対象に、受講生の要望に添った内容の教室を運営委員会により計画し開催する。	女性学級は利南魁の会が中心となって、教室の内容を検討し、実施している。そこに、一般参加者が受講する形で、教室を開催している。学習の場を通して、参加者の交流や親睦を深め、一般参加者の拡大とともに、会員の拡大につながればと考えている。体験実習的な教室のほか、地元の文化財を学ぶ教室を加える等、女性学級の充実を図った。	各種内容の教室が、話し合いの中で決めていけることは、良いことだと思います。引き続き、地域の交流や連帯感を深める場として、魅力ある教室を開催していただけるようお願いいたします。
63	社会教育課	利南若妻女性学級	実行委員会・協議会	利南地区内若妻会	若妻会会員、地区内の女性を対象に、受講生の要望に添った内容の教室を運営委員会により計画し開催する。	教養教室の充実を図るとともに、受講生のニーズにあった・求められている教室を開催することができた。	充実した内容のものが、継続して行われますよう予算等は、昨年度は確保していただければと思います。受講生の希望に添った教室が開催され良かったと思います。
64	社会教育課	池田高齢者教室	実行委員会・協議会	池田地区老人クラブ連合会	運営委員会を組織し、年度当初に年間計画を作成し、池田地区在住の65歳以上の男女を対象に、年間8回の講座を実施	対象者が毎年あまり変わらないため、参加者が参加したくなるような講座等をパートナーである「池田老人クラブ連合会運営委員」と知恵を出し合い考えている。26年4月に運営委員会を開催し、ニーズにあった講座を開けるよう努力している。	参加者が参加したくなるような講座等を、パートナーである池田公民館職員と知恵を出し合い考えている。26年4月に運営委員会を開催し、ニーズにあった講座を開けるよう努力している。
65	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根高齢者教室』	実行委員会・協議会	薄根地区老人クラブ連合会	薄根地区在住の高齢者を対象とした講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの高齢者が受講したくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの高齢者が受講したくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。
66	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根女性学級』	実行委員会・協議会	沼田市薄根婦人会	薄根地区在住の女性を対象とした講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講したくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講したくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。
67	社会教育課	薄根公民館まつり	共催	薄根地区振興協議会ほか (薄根地区振興協議会)	公民館まつりの開催	園児から高齢者まで参加しており、一定の成果は得られたと思われる。	園児から高齢者まで参加しており、一定の成果は得られたと思われる。
68	社会教育課	川田高齢者・女性学級	実行委員会・協議会	沼田市老人クラブ連合会川田支部ほか (沼田市老人クラブ連合会川田支部)	川田地区在住の高齢者・女性を対象とした各種講座の開催	新規講座を導入したことで、魅力ある有意義な学級を開催することができた。今後も、受講生が参加したくなるような学習ニーズにあった講座の検討を行っていききたい。	新規講座を導入したことで、魅力ある有意義な学級を開催することができた。今後も、受講生が参加したくなるような学習ニーズにあった講座の検討を行っていききたい。
69	社会教育課	川田地区民展	実行委員会・協議会	川田地区振興協議会、川田地区青少年育成連絡協議会ほか (川田地区振興協議会)	川田地区民が制作した作品を一堂に展示し、技術向上と住民相互の親睦を図る。	保育園児、小・中学生の作品を審査・表彰することで、子どもたちの意欲の向上が図られ、一定の成果を得ていると思われる。	保育園児、小・中学生の作品を審査・表彰することで、子どもたちの意欲の向上が図られ、一定の成果を得ていると思われる。

70	社会教育課	エコ・プロジェクトinかわだ	共催	利根実業高等学校、川田保育園、川田簡易郵便局(川田保育園)	緑のカーテンづくり	緑のカーテンにより電気代の節約と地球温暖化防止対策に貢献できた。ゴーヤの植え付け作業を通じて、園児と高校生のふれあい・交流を図ることができた。複数の施設で実施したことにより、事業の趣旨を広く周知することができた。	緑のカーテンにより電気代の節約と地球温暖化防止対策に貢献できた。ゴーヤの植え付け作業を通じて、園児と高校生のふれあい・交流を図ることができた。植物の栽培活動を学んだり、試食を通じて食育を行うことができた。
71	社会教育課	白沢町高齢者教室	事業協力・協定	白沢町燦々会	講座の計画立案、受講生の募集、年8回の講座開催	運営委員会において年間の活動を決定してもらっている。平成26年度も運営委員からの積極的な意見や希望を取り入れ自主的な計画・活動ができた。参加者は多く、また出席率も高いことから事業効果を高めている。	毎年実施していることから、地域に根付いた事業として定着しており、高齢者の学習機会の創出につながっている。また、運営委員会では積極的な意見もあり、今年度も幅広い計画・活動ができた。
					(改善点など)運営委員会からの希望でグラウンドゴルフを教室に組み入れることにより、多くの高齢者の方に参加してもらえた。	(改善点など)運営委員会での希望が反映され、多くの高齢者の方に参加してもらえた。	
72	社会教育課	白沢町文化祭	共催	沼田市文化協会 白沢支部	文化祭の開催(計画立案含む)。	出品数も多く作品展示もスムーズにでき文化向上が図られ、また、幅広い年代層の方の交流も深められた。会員の高齢化により準備等を考慮し、今後の開催会場の検討が必要である。	毎年実施していることから、地域に根付いた事業として定着している。
					(改善点など)耐震工事により展示会場を変更したが、定着した事業であり展示等もスムーズにできた。	(改善点など)耐震工事により展示会場を変更したが、定着した事業であり展示等もスムーズにできた。	
73	体育課	体力テスト等開催事業	事業協力・協定	沼田市スポーツ推進委員会	新体力テスト、ニュースポーツ体験及び講習会等により、健康の維持増進活動の場を提供する。	何年も続けて参加している人にニュースポーツ体験等を楽しんでもらうため、新たな種目を取り入れるなど事業内容を検討する必要がある。	何年も続けて参加している人にニュースポーツ体験等を楽しんでもらうため、新たな種目を取り入れるなど事業内容を検討する必要がある。
					(改善点など)参加者募集のPRに工夫を行ったため、予想以上に多くの来場者を迎え新体力テスト及びニュースポーツ体験をしていただくことができた。	(改善点など)参加者募集のPRに工夫を行ったため、予想以上に多くの来場者を迎え新体力テスト及びニュースポーツ体験をしていただくことができた。	
74	(白)総務課	白沢ふるさとまつり	実行委員会・協議会	白沢ふるさとまつり実行委員会	地域に根ざした伝統行事であり、白沢地域の振興を図るとともに住民相互のつながりや来訪者との交流を促進する。	町内各地区からの担ぎ手により、新たに作製された「白沢町神輿」のお披露目渡御も行われた。地域に根ざした伝統行事として幅広い世代が参加・来場し、住民相互の交流や地域の振興のために大きな役割を果たしており、今後も継続が必要である。	白沢町において、各地区の夏祭りや日を同じくして開催する一大行事として幅広く親しまれており、地域の活性化、住民相互の親睦と交流推進等のため、今後も継続して開催していきたい。

75	(白)総務課	白沢町盆踊り大会	実行委員会・協議会	白沢町盆踊り大会 実行委員会	伝統行事である盆踊りを継承し、親睦と交流の場とする。	地域に根ざした伝統行事として、住民相互の交流や地域の振興のために大きな役割を果たしており、今後も継続が必要であると考えられる。	白沢町における伝統行事であり、また、後継者の育成も重要であることから、今後も継続して開催していきたいと考えている。
76	(白)産業建設課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会・協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会	秋の味覚のPRと、消費者に感謝の気持ちを込めて特価販売を行う。	秋の行楽シーズンに開催し、晴天にも恵まれたため、大盛況であった。出展協力者のテント販売も盛況で、イベントとしては成功であったと思う。芝生広場が活用できなかったため、利用方法について検討したい。	開催日が晴天に恵まれたことや例年実施していること、またFM尾瀬や上毛新聞ほか、各報道機関への実施の報告を行ったこともあり、大変多くのお客様でにぎわう結果となった。また、野菜果物以外にも加工品等のテント(屋台)販売コーナーや地元産のきのこ汁の配布、新鮮野菜の掴み放題などの行事も同時開催したこともあり、前年を大きく上回る結果を残せた。
77	(白)産業建設課	白沢高原りんご&ぶどう祭り	実行委員会・協議会	白沢高原りんご&ぶどう祭り実行委員会	秋の味覚のPRと、お客様参加型イベントによる交流	台風の接近により雨天での開催となった。秋の行楽シーズンのため、ほかのイベントと重ならないよう日程を組んでいることから、延期もできず開催を強行する形になってしまった。お客様参加型のイベントも縮小開催になってしまったが、雨を気にせずに来てくれたお客様が大勢いたので、中止にしないでよかったと思う。今後は雨天時の対応について事前に検討し、チラシ等で告知できるように配慮したい。	特記事項はなし
						(改善点など)告知が早くできるように、最初の会議を10日程度早めて開催した。	
78	(利)産業建設課	吹割の滝開き・無事故安全祈願祭	事業協力・協定	利根町観光協会	シーズンの開幕を祝い、無事故を祈願する。	吹割の滝観光協会会員の高齢化が進んでいるので、後継者の確保を図る必要がある。	特記事項はなし
						(改善点など)吹割の滝観光協会関係者の事業に対する自主性・自立性が現れてきた。	
79	(利)産業建設課	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会(利根町観光協会)	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により地域の活性化と観光振興の一助とする。	各種団体の運営に携わる協力者は同じ協力者で固まってしまっている。事業運営に必要な人員確保についてはそれぞれの団体に責任を持っていただいているが、十分足りているところと不足しているところが見られる。今後も、事業をするため関係団体との連携の強化が必要である。	以前から利根町地域全体の祭りとして実施していると働きかけてはいるが、地域からの参加はない。今後も利根町全体のイベントだと感じられる内容となるように改善をしていきたい。
						(改善点など)各団体が協力する準備及び開催時間等の短縮が図られた。	

80	(利)産業建設課	老神温泉そば祭り	事業協力・協定	老神温泉そば祭り実行委員会(利根町観光協会)	奥利根高原そばをもとに滝と温泉を結びつけた新たな観光の創出と地域の活性化を図る。	一般市民・観光客との交流が図られているが、農業・商業・観光との連携とともに、イベントの運営に関わりながら更なる老神温泉地域の活性化が図られることを目指す。 (改善点など)計画段階から実行委員会から出される意見の検討がなされ、運営については自主性・自立性が現れてきた。	平成26年度は第10回の節目として実施したが、11回は更に充実した内容となるよう取組を提案したい。
81	(利)産業建設課	老神温泉赤城神社節分祭	補助・助成	老神温泉観光協会	赤城神社での節分祭を開催し、厄払いと観光振興、集客を図る。	老神温泉観光協会の更なる組織力の強化。節分祭当日夜のミニ花火大会により観光入り込み客の増加が見込める。 (改善点など)観光協会が自主的に事業を進めている。	特記事項はなし